

陸上から空気が送られる特殊なヘルメットを被ることで、誰でも海中散歩が楽しめる「シーウォーカー」。期間中、約700人が鹿島の美しい海中を散策しました。(7/18～9/27 ※9月は土、日曜日のみ)



全国各地の予選を勝ち抜いた36チームが参加して、松山市で「第18回俳句甲子園」が開催されました。本誌8月号で紹介した宇和島東高校チームは、決勝トーナメント1回戦で大会常連校の開成高校A(東京都)に惜敗しましたが、兵頭輝さん(3年、家串)の「号砲や飛び出す一塊の日焼」が大会最優秀句(文部科学大臣賞)に選ばれました。(8/22、23)



10月25日(日)に開催が予定されている「ふるさと一本松祭」の会場周辺にきれいなヒマワリを咲かせようと、広見地域資源保全隊(佐藤謙吉代表)が、一本松小学校5年生25人の協力を得てヒマワリの苗の植え付けを行いました。(9/1)



運動会シーズンを迎え、町内の小中学校や保育所などで運動会が開催されました。子どもたちは全力で競技や演技を行い、その元気いっぱいの姿に、保護者などから大きな声援と拍手が送られました。(9/12～)



あいなん小児医療を守る会主催の「第4回あいなん医療研修会」が、御荘文化センターで実施されました。研修会では、町保健福祉課職員から地域医療の現状についての報告などがあったほか、兵庫県立柏原病院の小児医療を守る会の支援者で、丹波新聞社記者の足立智和氏の講演が行われました。(9/5)※P18のコラムもご覧ください。



今年の「街道灯籠祭り愛南」の最後を飾る『山街道をゆく』が、山出地区で開催されました。同地区の棚田には手づくりの竹灯籠約500個がボランティアの皆さんにより設置され、日暮れとともに幻想的な灯りが浮かび上がりました。(9/12)



あんなにわいわい、こんなんに

FLOWN PUMP

写真 4

7~「みきゃん」と一緒に「えがおダンス」

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会のイメージソング『えがおは君のためにある』に振り付けをした「えがおダンス」を運動会の種目に採用した町内の小学校に、「みきゃん」率いる「えがおダンス応援隊」が訪問しました。

運動会を間近に控えた児童たちは、同国体のマスコットも務める「みきゃん」と一緒に、元気よく笑顔いっぱい「えがおダンス」の練習で汗を流しました。

写真 5 写真 6

21 サンバなどで盛り上がる今年最後の夏祭り

愛南町での今年最後の夏祭りとなる「御荘夏まつり」が、平城商店街周辺で開催されました。

御荘夏まつりは、平城小トランペット鼓隊のオープニングパレード、愛南サンバに合わせた小中学生や各種団体による踊りパレードなどで賑やかに幕を開け、会場周辺が浴衣姿の親子連れなどで賑わいました。

また、僧都川河川敷や観自在寺境内には特設ステージが設けられ、「B&G キッズダンス」などによるダンスの披露や、福浦小学校による「風の子太鼓」の演奏などが行われました。

祭りのフィナーレには壮麗な花火大会もあり、多くの観客を魅了しました。

本日!海日和!! vol.59 「イカの腕前」



アオリイカ

毎月10日はイカの日である。なぜ10日なのか、イカをよく知っている人ならピンとくるだろう。そう、イカの足が10本あることからこの日が決められた。

足というが、海の中で歩いたり走ったりすることはできない。人間の手のような働きをしているので、正式には腕(うで)と呼ぶ。その中で特に長く伸びる2本を使いエビや魚を捕まえる。そして、残りの8本で抱え込み、逃げられないようにしてからじっくりと食事をする。イカは2種類の腕を上手に使い分けている。

腕は体を大きく見せるときにも使われる。写真のアオリイカも腕をいっぱい広げて、写真を撮る私を威嚇している。(ちっとも怖くないが・・・)

イカを食べる機会があれば、足ならぬ腕の違いをじっくりと観察してみしてほしい。

(撮影地:瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照



長月小学校での「えがおダンス」の練習風景

写真 1
8/ 24 増田のはなとりおどり

増田地区の安養寺境内で多くの見物客が見守るなか、県指定無形民俗文化財の「はなとりおどり」が古式ゆかしく奉納されました。

この踊りは地域で400年以上にわたって伝わってきたとされ、同寺に祀られている「高山尊神」への奉納と、イノシシ退治で犠牲となった「ちよぼし弥三郎」の供養、増田地区の安全祈願を願って毎年旧暦7月11日に行われています。

写真 2
9/ 5 津波から身を守るために

南海トラフ巨大地震により甚大な津波被害が予想される愛南町において、地域住民が自らの命を守る取組を支援するため、県南予地方局主催による「南予津波被害防止支援事業(全4回)」が東海公民館を主会場に実施されています。

3回目の開催となった今回はタウンウォッチングを行い、東海地域自主防災会が中心となって1、2回目の開催時に作成した防災マップの見直しを行いました。

次回は、避難訓練実施後に避難経路などを取りまとめ、事業の総括を行う予定です。

写真 3
9/ 5 伝統ある緑八朔相撲で豊作願う

八朔(旧暦8月1日)の恒例行事「緑八朔相撲」が緑ふれあい広場土俵で開催され、小学生の部に約60人、一般の部には中高生を含む約30人が参加しました。

小学生の部(個人戦、団体戦)に続いて行われた一般の部では、団体戦のほか、勝てば連続して取組を行う三番勝、五番勝などの宮相撲形式での個人戦が行われ、迫力ある取組に会場から大きな歓声と拍手が飛び交いました。